

肝動脈塞栓術を受けられる

様へ

(ID:

)

担当医:



一般財団法人厚生会
仙台厚生病院
SENDAI KOUSEI HOSPITAL

経過	入院日 (手術前日)	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3～6日目	退院日 (術後7日目)
		手術前	手術後				
月/日	(/)	(/)		(/)	(/)	(/ ~ /)	(/)
達成目標	1. 不安なく治療が受けられる	2. 安静の必要性を理解できる		3. 合併症を起こすことなく過ごすことができる			
治療処置	●両鼠径部の毛を剃ります ●足背の動脈に印をつけます	●肌着は脱いで、長衣・T字帯・弾性ストッキングに着替えて検査室へ行きます(下肢静脈血栓予防のためにストッキングを履きます) ●女性の方は病棟で尿管カテーテルを入れます ●男性の方は検査室で尿管カテーテルを入れます	●カテーテルの穿刺部位を圧迫して固定します ●帰室時にモニターを装着します	●朝6時に尿管カテーテルを抜きます ●その後にカテーテル穿刺部位の圧迫を除去します			
点滴		●朝から点滴を開始します		●抗生剤の点滴(朝・夕)を行います 抗生剤の点滴は術後5日目まであります			
内服薬	●普段通り内服してください(抗凝固薬は中止のままです)	●朝分の内服薬を朝6時に内服してください(抗凝固薬・糖尿病薬は中止してください) ●昼分からはすべて中止となります		●普段通り内服してください(抗凝固薬は中止のままです)	●抗凝固薬を内服されていた方は再開してください		
検査				●採血 (術後1日目、術後3日目、術後5日目)			
食事	●通常通りお食事ができます	●丸一日、絶食になります ●水分は少量であれば飲んでもかまいません	●3時間後より水分が摂取できます	●朝より食事が開始になります			
活動	●制限はありません		●ストレッチャーで病室へ戻ります ●翌日朝6時までベッド上安静になります ●治療後6時間までカテーテルを穿刺した側の足を曲げたり、寝返りができません	●圧迫を除去したら歩行可能です			
清潔	●入浴できます	●入浴はできません		●入浴はできません タオルで体をお拭きします	●入浴できます		
説明	●入院生活について説明します			●治療の経過については、朝と夕方に医師が回診しますので、そのつど説明します			●次回の外来予約票をお渡しします
備考	●T字帯とバスタオルの準備をお願いします(T字帯は売店にございます)	●入れ歯・指輪・時計などの金属類を外して、連絡があるまでお待ちください	●気分が悪い時、痛みがひどい時はすぐにお知らせください				●10時頃に医事課担当者が会計用紙をお部屋までお持ちします

入院期間については現時点で予想されるものです。

担当看護師:

患者・家族:

平成28年9月作成